

## 第 16 回 気象文化大賞 受賞者（国内・アジア太平洋）

一般財団法人 WNI 気象文化創造センターでは、国内・アジア太平洋地域における気象の減災・自助・共助、経済的利用、環境問題などをテーマとした実用・実践的な研究活動について表彰・助成しております。

本大賞では 2026 年 2 月 ～ 4 月にかけて公募し、選考委員会（東京大学 中須賀真一氏を選考委員長とする）による厳正かつ公平な審査のもと、助成先を決定いたしました。本大賞の結果を次に示します。

受賞者	所属機関	テーマ	助成額
瀧本 家康	宇都宮大学共同教育学部 准教授	今こそ、回転水槽実験！！大気大循環とその役割の理解を深める偏西風波動モデル実験の普及・活用方法の検討	70 万円
佐々木克敬	東北工業大学総合教育センター 教授	気象災害時における職務専門性と多機関連携を可視化する『参加型スクールタイムライン』の高度化と普及	70 万円
岩崎 利勝	気象防災アドバイザー	地域防災への関心を高める自主参加型気象防災学習の取組	30 万円
牟田 淳	東京工芸大学 教授	立体雪結晶の 3 次元形態可視化教材の開発 —斜めマクロ撮影による立体雪結晶の教育用 Web 動画アーカイブ構築と教育実践—	50 万円
福村 佳美	アジア太平洋無形文化遺産研究センター	気候変動下における雪氷文化伝承の持続可能性を可視化するルーブリック評価モデルの開発	50 万円
林 美鶴	神戸大学内海域環境教育研究センター	CFD と実測データを用いた船舶観測風に内在する船体影響特性の把握	60 万円
吉田 将司	サレジオ工業高等専門学校 准教授	周防大島沿岸域における海霧の発生と消失に関する条件の検討	75 万円
山本 達之	島根大学生物資源科学部 教授	環境モニタリングのためのラマン分光法：水中および大気中のマイクロプラスチックを検出する新規装置と解析プログラムの開発	80 万円

山下 幸三	公立小松大学	雷放電発生前の雷雲監視を目的とした雨滴電荷の地上計測網構築	75 万円
栗原ちひろ	気象防災アドバイザー	九州における未登録自然災害伝承碑の発掘・記録と地域防災教育への活用	45 万円
前島 康光	神戸大学大学院海事科学研究科 准教授	エッジ AI コンピュータを用いた船舶安全航行に資する局地的豪雨予報システム開発 ~ラスト 1 海里の船舶安全航行を目指して~	75 万円
伊藤 貢司	桜美林大学 専任教授	観測・可視化技術を活用したスカイスポーツ安全支援による気象文化の醸成	75 万円
高須賀 匠	長岡技術科学大学 工学研究科 5 年一貫制博士課程	「次の行動が決まる言葉」へ気象情報を変換する,個人向け AI 気象予報士サービス「パーソナルキャスト」の構築 熟練気象予報士の判断過程を分解・再現する根拠忠実型 NLG アーキテクチャの研究と社会実装	73 万円
岩崎 博之	群馬大学名誉教授	冬期雷を対象とした気象衛星ひまわり赤外多波長データによる落雷予測のための基礎研究	70 万円
北原 豪	宮崎大学農学部	気象変動による産業動物の繁殖性への影響解明とバイオマーカーの開発	60 万円
林 義晃	福岡大学工学部社会デザイン工学科 助教	河川流量推定結果は降水量データの空間解像度にどこまで依存するか	30 万円
吉川 契子	静岡県立科学技術高等学校 教諭	静岡で気温 40° C 以上が観測されたのはなぜか?科学技術高校の地学基礎授業で探究する活動の教材化	40 万円
山根 悠介	常葉大学 教授	気候と文化の多様性理解のための学生向け国際ワークショップの構成と実践	40 万円
池田 昭大	鹿児島工業高等専門学校 准教授	暑さ指数と気象・人間活動要因を考慮した熱中症搬送者数の予測とリスク評価	50 万円
浅野 裕樹	長野大学共創情報科学部 准教授	学校内での放射観測データを活用した、放射収支を実感的に理解するための探究型教材の開発	65 万円

林 真彦	認定 NPO 法人 富士山測候所を活用する会	極限環境下における火山可視監視の実現:LPWA 通信による冬期富士山頂ライブカメラの実証	75 万円
中島 徹	東京大学 助教	AI・VR・環境データ統合による「気象×森林×人間行動」の可視化と教育・社会実装に関する研究 —気象変動の体験型理解を促進するデジタル・フィジカルの融合基盤の構築—	75 万円
成田 知巳	湘南工科大学工学部 教授	落雷位置標定システムのアジア展開に向けたスタンドアローンシステムの開発	80 万円
鈴木 智幸	湘南工科大学情報学部 教授	航空気象観測による雷活動の長期変動・周期性・季節遷移の解明	55 万円
岡本 義雄	個人	教材用自作地震計を用いた学校観測ネットワークの整備と、観測された地震波形を用いた教材開発（その2） —タイの科学高校での成果と経験を、日本国内に共有し構築する—	80 万円
Dr. E. Parimalasundar	Saveetha School of Engineering, Saveetha Institute of Medical	AI-IoT Enabled Local Weather Sensing and Forecasting Prototype for Disaster Preparedness and Climate Resilience: 災害対策と気候変動への耐性強化のための、AI と IoT を活用した地域気象観測・予測プロトタイプ	110 万円
Tomomi Sakura Ijuin	Sakuranesia Society (SAKURA NESIA DONASI)	Development of Meteorological Disaster Prevention Human Resources and Establishment of a Meteorological Data Utilization Platform in Indonesia : インドネシアにおける気象災害予防人材の育成と気象データ活用プラットフォームの構築	198 万円
Yuichi Ono	World Bosai Forum Foundation	Building momentum for the 2027 Asia-Pacific Ministerial Conference on Disaster Risk Reduction (APMCDRR) in Sendai and establishing the World BOSAI Forum platform to enhance weather culture and disaster resilience. : 仙台で開催される 2027 年アジア太平洋防災閣僚会議 (APMCDRR) に向けて機運を高め、気象文化と災害へのレジリエンスを強化するための世界防災フォーラムのプラットフォームを確立する。	480 万円

Shuichi Mori	Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology (JAMSTEC), Ph.D.	Development of Coastal Hydro-Meteorological Monitoring Infrastructure for Blue Carbon Conservation in Bali, Indonesia, using Aircraft/Vessel Big Data and Multi-layered Remote Sensing : 航空機・船舶ビッグデータと多層リモートセンシングを用いた、インドネシア・バリ島におけるブルーカーボン保全のための沿岸水文気象観測インフラの開発	130 万円
Dr. Andri Ramdhani	Badan Meteorologi Klimatologi dan Geofisika (BMKG)	Project to Enhance Disaster Resilience in Indonesia through Multi-dimensional Visualization of Meteorological and Disaster Information : デジタル地球儀を活用した多角的気象・防災情報の可視化による、インドネシア国民の防災リテラシー向上プロジェクト	500 万円
Nagisa Sone	University Space Engineering Consortium (UNISEC)	A Hands-on Educational Program for Meteorological Observation, Satellite Technology, and Data Utilization Using the Satellite Education Kit : 衛星教育キットを用いた気象観測、衛星技術、データ利用に関する実践的な教育プログラム	180 万円
Masashi Kamogawa	Certified NPO Mount Fuji Research Station (MFRS)	Observational Study of Aerosol-Lightning Interactions in the Asia-Pacific Region Based at Mount Fuji : 富士山を拠点としたアジア太平洋地域におけるエアロゾルと雷の相互作用に関する観測研究	170 万円
Prof. D. Vishnu Vardhan	JNTUA College of Engineering (Autonomous) Pulivendula	Development of a Low-Power SoC for Real-Time Distributed Weather Sensing and LoRa Mesh Relay Networks in Large-Area Monitoring Systems : 広域監視システムにおけるリアルタイム分散型気象センシングおよび LoRa メッシュリレーネットワーク向け低消費電力 SoC の開発	80 万円